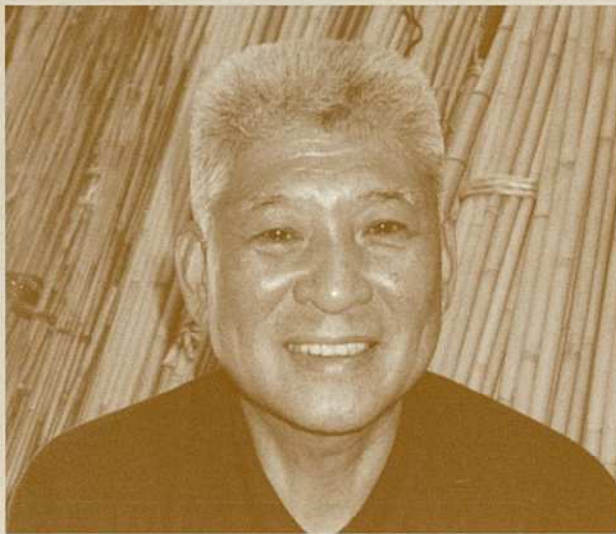


伝統に生きる

—あらかわの工芸技術—



わ ざお
和 竿

なか ね き さぶろう
中 根 喜 三 郎

(平成12年度作品)

16^{mm}映画・ビデオ
カラー・27分

プロフィール

住所、荒川区南千住5-11-14

昭和6年(1931)、墨田区生れ。

平成11年度、荒川区指定無形文化財保持者に認定される。

中根さんの曾祖父・中根忠吉氏(初代竿忠)は、元治元年(1864)生れ(江東区の洲崎神社境内に徳富蘇峰書の「名人竿忠之碑」が建つ)。忠吉氏の父・音吉氏は、初代泰地屋東作に弟子入りし、修業した。初代泰地屋東作は、天明の頃、江戸で専門に釣竿づくりをはじめた釣竿師と伝えられる。その後、音吉氏は浅草に「釣音」の看板を掲げて独立。その長男忠吉氏が初代竿忠となった。

竿忠は代々長子相伝であったが、戦災に遭い、三男の中根さんが跡を継いだ。中根さんは昭和26年より墨田区押上にいた奥平銀氏(2代目竿辰)の下で3年間修業を積み、その後京都の「竿徳」で2年ほど修業を重ねる。昭和31年に「竹の子」の竿の銘で現在地に独立。昭和49年、4代目竿忠を襲名。平成8年に黄綬褒章を受章。

「自分が納得できない竿は絶対に作らない」という中根さんは、竹探しから漆塗りまで、120といわれる全工程を一人で手がけ、実用品としても工芸品としても素晴らしい和竿を作り続けている。

企 画 荒川区教育委員会・制作 株式会社 文化工房
著 作

用具・工具

竹(矢竹、布袋竹、淡竹、真竹等)、胴付鋸、小刀、きしゃぎ、分差し、物差し、罫引き、柳刃鋸、中さらい、つきのみ・かきだし(1本の両端についている)、丸棒やすり、極め木、絹糸、矯め火鉢、矯め木、漆塗り道具一式、定盤など

工程 — 6本継ぎ耐竿の場合 —

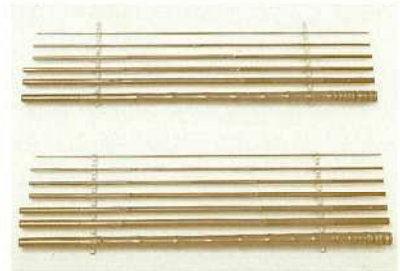
- ① 原竹は、自らの目で確かめて仕入れる。およそ1ヶ月ほど天日に晒したり、油抜きをして、釣竿の材料に仕立てる。
- ② 【切り組み】 竿はそれぞれの竹の特徴を巧みに活かして、数種類の竹を切り、継ぎ合わせて作る。
- ③ 真竹を割って穂先を作る。
- ④ 【芽とり】
- ⑤ 節に息抜き用の小さな穴を開ける。火入れの熱による竹の破裂を防ぐためである。
- ⑥ 【火入れ】 火入れは下矯め、中矯め、上矯めと数回にわたって行われる。
 - ・ 矯め火鉢で竹を温めながら、竹の曲がりや矯め木で矯めていく。曲がりを直すと同時に、竹に強さと粘りを与える。
- ⑦ 【巻き下】 すげ口に糸巻きをする前の下仕事を総称して、巻き下という。
 - ・ 火入れが済むと柳刃鋸や袋鋸で節抜きや中さらいを行う。
 - ・ 【小口切り】 それぞれの竹を正確な長さに切りそろえる。
 - ・ すげ口とすげ込み口の長さを測って罫引きする。
- ⑧ 【糸巻き】
 - ・ すげ口の所々に漆を塗りつけ、強度を保つために絹糸を巻きつける。
 - ・ 巻きむらを整え、糸のけばだちを抑えるため、薄く溶いたニカワを塗り、極め木で締めつける。
- ⑨ 【継ぎ】
 - ・ 【並継ぎ】 手元の竿のすげ口の内側に、次に継ぐ部分が入るように順々に継ぐ。
 - ・ 【印籠継ぎ】 継ぎ口を印籠のように蓋と胴をぴったりと合わせる継ぎ方。
- ⑩ 【継ぎ矯め】 継ぎ合わせながら、竿の曲がり具合を矯め直していく。
- ⑪ 釣糸を結ぶ部分の蛇口を作る。
- ⑫ 【栓かい】 ひと継ぎごとの竿尻に、乾燥させた檜の木片を竿の径に合わせて削り、栓をする。
- ⑬ 【漆塗り】 漆は和紙で漉して不純物を取り除いて使う。漆塗りは下塗り、中塗りを何度か繰り返して、仕上げの上塗りをする。また、ひと塗りごとに室に入れて乾かす。
 - ・ 【口塗りと込み塗り】 ひと継ぎごとのすげ口とすげ込みを塗る。
 - ・ 【胴塗り】 … 【拭き漆】 竿の胴中を湯拭きして、手に漆をすくいにとって万遍なく塗る。江戸継ぎ竿の独特な技法。
 - ・ 胴塗りの模様は、竹の節に見られる影を漆で表した【節陰塗り】、古い竹に見られる胡麻様の斑点を漆で表した【胡麻塗り】等があり、この二つの技法は中根さん独特の技法。
 - ・ 【炭研ぎ】 表面を滑らかにするため、漆塗りの下塗り、中塗りをする度に炭で磨く。
- ⑭ 【模様だし】 すげ口に貝殻をちらす螺鈿塗りを施す。
- ⑮ 【仕上げ】 上矯めという仕上げの火入れをする。最後に竿をつないで、全体の調子を確認する。



(用具・工具)



(切り組み)



(完成品)

この記録〈ビデオテープ〉は、荒川区内の各図書館で貸し出しています(1回8日間)。また〈16mm映画〉は、荒川区立南千住図書館で貸し出しています(1回5日間)。区内の地域・職場・学校などのグループで登録のうえ、ご利用下さい。なお、16mmの操作には資格が必要です。ご利用の際は、16mm映写機講習修了者が操作して下さい。詳しくは下記にお問い合わせ下さい。

〈問い合わせ先〉

荒川区立荒川ふるさと文化館・・・3807-9234

南千住図書館・・・3807-7114

町屋図書館・・・3892-9821

荒川図書館・・・3891-4349

日暮里図書館・・・3803-1645

尾久図書館・・・3800-5821